



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日

上場会社名 株式会社 ニフコ 上場取引所 東  
 コード番号 7988 URL <http://www.nifco.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 利行  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 本多 純二 TEL 03-5476-4853  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月5日 配当支払開始予定日 平成27年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	129,712	21.8	14,192	32.9	13,853	33.3	8,972	27.2
27年3月期第2四半期	106,475	22.6	10,680	49.3	10,392	32.8	7,053	81.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 8,589百万円 (65.3%) 27年3月期第2四半期 5,195百万円 (△47.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	174.58	164.70
27年3月期第2四半期	133.45	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	280,926	126,247	43.8	2,406.57
27年3月期	265,752	128,307	47.1	2,367.40

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 123,012百万円 27年3月期 125,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	35.00	-	45.00	80.00
28年3月期	-	45.00	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	55.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	10.9	25,500	21.6	25,000	21.2	15,800	22.5	308.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）Nifco KTW America Corporation、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	53,754,477株	27年3月期	53,754,477株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,639,055株	27年3月期	857,928株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	51,396,061株	27年3月期2Q	52,853,980株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	7
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(四半期連結損益計算書関係) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、企業の設備投資や公的支出は引き続き堅調なもの、平均消費性向の低下による個人消費の減少と中国及び新興国の景気悪化による輸出の減少による経済成長の鈍化が見られました。海外においては、引き続き好調な米国経済に支えられて堅調に推移したものの、米国の利上げ時期の先延ばしや中国経済の減速、新興国経済の低迷により、先行きはやや不透明となってきました。

当社グループの主要顧客であります国内自動車メーカーにおきましては、北米を中心に生産、販売が伸び、また海外自動車メーカーにおきましても、中国の一部で減速の影響はあったものの、欧州・アジアでの伸びがみられ、総じて堅調に推移しました。ただし、欧州メーカーの環境対応問題がどのように影響してくるのか、今後の動向を注視してゆく必要があります。

このような状況のなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比21.8%増の1,297億1千2百万円となりました。

一方、利益面では、業容の拡大によるコスト増加もありましたが、売上増加による利益増や原価低減活動等もあり、当第2四半期連結累計期間の連結営業利益は前年同期比32.9%増の141億9千2百万円となりました。連結経常利益は前年同期比33.3%増の138億5千3百万円となり、また親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比27.2%増の89億7千2百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、国内においては個人消費の低迷は見られたものの、堅調に推移、海外においては北米・アジアで大きな伸びがみられ、欧州でもM&A効果による伸長など総じて好調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比22.8%増の1,173億5千2百万円となりました。営業利益も欧州でのM&A償却負担増もあったものの、販売増加による利益増や原価低減活動により、前年同期比27.6%増の153億6千7百万円となりました。

#### ②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、国内においては、消費低迷で競争が激化するなか「シモンズベッド」としての高級ブランド戦略の推進により堅調に推移、海外においては中国での消費低迷の影響もありましたが、販促効果による大きな伸長があり、総じて好調に推移しました。この結果、当第2四半期連結累計期間のベッド及び家具事業の売上高は前年同期比14.7%増の110億9千3百万円となりました。営業利益につきましては、前年同期比18.1%増の14億2千2百万円となりました。

#### ③その他の事業

その他の事業は主に新聞及び出版事業であります。出版売上の増加が寄与して、当第2四半期連結累計期間のその他事業の売上高は前年同期比4.8%増の12億6千5百万円となりました。営業損失につきましては1百万円(前年同期の営業損失は8千2百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ151億7千4万円増加して、2,809億2千6百万円となりました。この主な増加要因は、自己株式取得や設備等投資のために転換社債を発行したことにより、現金及び預金が155億8千2百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ172億3千4百万円増加し、1,546億7千9百万円となりました。この主な増加要因は、転換社債の発行200億9千1百万円によるものであります。

純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ20億6千万円減少し、1,262億4千7百万円となりました。この主な減少要因は、利益剰余金が65億9千2百万円増加したものの、取得等により自己株式が79億5千8百万円増加したことなどによるものであります。

以上により当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.3ポイント減少し、43.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、144億2千9百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益138億5千万円、減価償却費72億2千3百万円などの資金増があり、一方で、法人税等の支払額39億8千2百万円などの資金減があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは、85億7千7百万円となりました。これは主に固定資産の取得108億5千4百万円の資金減があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によって得られたキャッシュ・フローは、74億1百万円となりました。これは主に、自己株式取得および設備投資等資金として発行した社債による収入200億7千5百万円と、自己株式取得による支出80億円や配当金の支払23億7千7百万円などの資金減があったことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて137億3千2百万円増加し、656億3千6百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

（通期）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） 平成27年5月13日発表	240,000	24,000	23,500	14,500	283 01
今回修正予想（B）	250,000	25,500	25,000	15,800	308 19
増減額（B－A）	10,000	1,500	1,500	1,300	－
増減率（％）	4.2	6.3	6.4	9.0	－
（ご参考）前期通期実績 （平成27年3月期）	225,415	20,975	20,626	12,901	244 04

通期連結業績予想の修正理由

売上高につきましては、米国、アジアなどで完成車メーカーの上期における好調な生産を受け、主力事業である自動車向け合成樹脂成形品事業の販売が当初計画より増加すると見込まれるため、また利益面につきましては、M&Aによる償却負担が見込まれるものの、販売の増収効果による利益増等により、通期の売上高を2,500億円、営業利益を255億円に業績予想を修正いたします。

なお、連結業績予想に用いた主な為替換算レートは、120円／米ドル、135円／ユーロです。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、新規設立したことにより、Nifco KTW America Corporationを連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	53,277	68,859
受取手形及び売掛金	43,081	44,585
電子記録債権	6,009	6,513
有価証券	6,896	3,677
商品及び製品	18,947	19,161
仕掛品	4,607	4,902
原材料及び貯蔵品	6,378	6,719
繰延税金資産	1,473	1,675
その他	6,949	7,042
貸倒引当金	△211	△220
流動資産合計	147,408	162,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,878	37,067
機械装置及び運搬具(純額)	19,162	19,986
工具、器具及び備品(純額)	4,386	4,298
金型(純額)	5,134	5,200
土地	20,432	20,449
リース資産(純額)	2,336	1,983
建設仮勘定	7,143	7,452
有形固定資産合計	92,473	96,439
無形固定資産		
のれん	4,869	4,193
その他	7,829	6,407
無形固定資産合計	12,699	10,601
投資その他の資産		
投資有価証券	8,998	6,787
退職給付に係る資産	150	100
繰延税金資産	1,119	1,193
その他	2,911	2,899
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	13,169	10,971
固定資産合計	118,343	118,011
資産合計	265,752	280,926

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,692	21,460
1年内償還予定の社債	226	691
短期借入金	12,340	10,405
1年内返済予定の長期借入金	1,905	1,940
未払金	6,372	4,683
未払法人税等	2,372	3,031
繰延税金負債	4	-
賞与引当金	1,474	1,526
その他	10,673	11,160
流動負債合計	57,062	54,899
固定負債		
社債	26,996	26,682
転換社債型新株予約権付社債	-	20,091
長期借入金	41,374	41,286
繰延税金負債	6,278	6,104
退職給付に係る負債	2,668	2,808
その他	3,063	2,805
固定負債合計	80,382	99,780
負債合計	137,444	154,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	11,758	11,812
利益剰余金	94,877	101,469
自己株式	△1,810	△9,768
株主資本合計	112,116	110,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,354	1,484
繰延ヘッジ損益	60	61
土地再評価差額金	△91	△91
為替換算調整勘定	11,589	11,472
退職給付に係る調整累計額	△801	△718
その他の包括利益累計額合計	13,111	12,208
非支配株主持分	3,080	3,234
純資産合計	128,307	126,247
負債純資産合計	265,752	280,926



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	106,475	129,712
売上原価	76,048	92,944
売上総利益	30,427	36,767
販売費及び一般管理費	19,746	22,574
営業利益	10,680	14,192
営業外収益		
受取利息	123	121
為替差益	309	-
デリバティブ評価益	1	137
その他	290	399
営業外収益合計	724	658
営業外費用		
支払利息	448	453
為替差損	-	212
デリバティブ評価損	312	-
その他	251	331
営業外費用合計	1,012	998
経常利益	10,392	13,853
特別利益		
固定資産売却益	31	17
その他	0	0
特別利益合計	31	18
特別損失		
固定資産処分損	5	19
その他	1	2
特別損失合計	6	21
税金等調整前四半期純利益	10,417	13,850
法人税等	3,811	4,428
過年度法人税等	※ △757	-
四半期純利益	7,363	9,421
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,053	8,972
非支配株主に帰属する四半期純利益	310	449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	638	△869
繰延ヘッジ損益	-	0
為替換算調整勘定	△2,861	△45
退職給付に係る調整額	55	82
その他の包括利益合計	△2,167	△832
四半期包括利益	5,195	8,589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,957	8,070
非支配株主に係る四半期包括利益	238	519

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,417	13,850
減価償却費	5,232	7,223
のれん償却額	215	361
貸倒引当金の増減額(△は減少)	38	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	△44	46
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	424	246
受取利息及び受取配当金	△165	△191
支払利息	448	453
為替差損益(△は益)	△328	335
固定資産売却損益(△は益)	△31	△17
固定資産処分損益(△は益)	5	19
売上債権の増減額(△は増加)	△1,911	△1,904
たな卸資産の増減額(△は増加)	△983	△836
その他の資産の増減額(△は増加)	△296	△80
仕入債務の増減額(△は減少)	209	△256
未払又は未収消費税等の増減額	△67	△372
その他の負債の増減額(△は減少)	893	△423
その他	71	152
小計	14,127	18,616
利息及び配当金の受取額	139	286
利息の支払額	△419	△490
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,200	△3,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,646	14,429
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△13,085	△23,634
定期預金の払戻による収入	12,506	21,759
有価証券の取得による支出	△5,080	△5
有価証券の売却及び償還による収入	6,064	5,227
固定資産の取得による支出	△11,141	△10,854
固定資産の売却による収入	111	95
投資有価証券の取得による支出	△106	△1,040
投資有価証券の売却による収入	24	-
子会社株式の取得による支出	△7,612	-
その他	△384	△126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,704	△8,577

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	24,269	15,855
短期借入金の返済による支出	△25,355	△17,625
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△175	△237
長期借入れによる収入	18,084	638
長期借入金の返済による支出	△3,336	△772
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	-	20,075
自己株式の売却による収入	107	96
自己株式の取得による支出	△0	△8,000
配当金の支払額	△1,900	△2,377
非支配株主への配当金の支払額	△297	△251
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,395	7,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	△491	479
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,846	13,732
現金及び現金同等物の期首残高	40,022	51,904
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,868	65,636

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※過年度法人税等

前第2四半期連結累計期間の「過年度法人税等」は主にタックスヘイブン対策税制に係る課税処分の取り消しに伴う還付によるものであります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年4月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、当第2四半期連結累計期間において、自己株式を7,999百万円(1,800,500株)取得しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己株式の残高は9,798百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

〔報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報〕

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注3)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	95,597	9,669	105,266	1,208	106,475	-	106,475
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	1	84	85	△85	-
計	95,598	9,669	105,268	1,293	106,561	△85	106,475
セグメント利益又は損失(△)	12,039	1,203	13,243	△82	13,161	△2,480	10,680

(注) 1. その他には、新聞及び出版事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△2,480百万円は、全社費用△2,543百万円及びセグメント間取引消去62百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(参考情報)

所在地別の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	欧州	合計	消去又は全社	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額
売上高							
外部顧客に対する売上高	35,561	40,269	17,884	12,760	106,475	-	106,475
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,683	3,068	22	60	6,836	△6,836	-
計	39,245	43,337	17,906	12,821	113,311	△6,836	106,475
営業利益	5,793	4,917	1,406	975	13,091	△2,411	10,680

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

[報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報]

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注3)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	117,352	11,093	128,446	1,265	129,712	-	129,712
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	0	1	86	87	△87	-
計	117,353	11,093	128,447	1,352	129,799	△87	129,712
セグメント利益又は損失(△)	15,367	1,422	16,789	△1	16,788	△2,595	14,192

(注) 1. その他には、新聞及び出版事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△2,595百万円は、全社費用△2,673百万円及びセグメント間取引消去77百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(参考情報)

所在地別の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	欧州	合計	消去又は全社	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額
売上高							
外部顧客に対する売上高	36,551	52,792	23,125	17,243	129,712	-	129,712
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,554	3,786	72	113	8,527	△8,527	-
計	41,106	56,578	23,198	17,356	138,240	△8,527	129,712
営業利益	6,443	7,469	2,668	346	16,928	△2,735	14,192

(注) 前連結会計年度まで営業外収益に計上しておりました「工業所有権収入」につきましては、第1四半期連結会計期間より、「売上高」に含めて計上する方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、前第2四半期連結累計期間の「日本」の「所在地間の内部売上高又は振替高」及び「営業利益」がそれぞれ1,072百万円増加しております。なお、前第2四半期連結累計期間の所在地別の売上高及び営業利益につきましては、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。